

# 平成22年度 第2回 朝日地域審議会

## 次 第

日 時 平成22年9月16日(木)  
午後7時～

場 所 すまいる 大集会室

### 1 開 会

### 2 あいさつ

### 3 協 議

(1) 地域審議会協議テーマについて

#### － 分科会 －

(1) 分科会座長の選任について

(2) 地域を取り巻く現状と課題報告

(3) 分科会ごとの協議

### 4 全 体 会

(1) 分科会の報告

(2) その他

### 5 閉 会

## 朝日地域審議会委員名簿

(任期 平成22年6月10日から平成24年6月9日まで)

区 分	所 属 団 体 等	役職名等	氏 名
1	朝日地域駐在員連絡協議会	会 長	佐 藤 正
2	朝日地域駐在員連絡協議会	副 会 長	齋 藤 健 一
3	出羽商工会朝日支部	代 表 理 事	松 本 壽 太
4	庄内たがわ農業協同組合	理 事	宮 崎 重 美
5	出羽庄内森林組合	理 事	伊 藤 文 一
6	あさひむら直売施設管理運営組合	店 長	佐 藤 照 子
7	鶴岡市消防団朝日方面隊	副 方 面 隊 長	宮 崎 康 史
8	庄内たがわ農業協同組合朝日支所女性部	部 長	難 波 玉 美
9	鶴岡市朝日地区民生児童委員協議会	会 長	齋 藤 亮 一
10	朝日体育協会	会 長	佐 藤 芳 彌
11	鶴岡市老人クラブ連合会朝日支部	支 部 長	清 野 義 次
12	鶴岡市立朝日小学校PTA	会 長	佐 藤 清
13	大鳥タキタロウ村	村 長	大 滝 清 策
14	旧朝日村	元 収 入 役	帯 刀 春 男
15	旧朝日村議会	元 副 議 長	井 上 時 夫
16	朝日地域駐在員連絡協議会	事 務 局 長	菅 原 孫 一
17	朝日地域保健委員会	会 長	佐 藤 世 津 子
18	朝日剣道スポーツ少年団	代 表 指 導 者	今 野 め ぐ み
19	大泉自治会連絡協議会	会 長	難 波 庄 一
20	朝日祥雲御山太鼓	代 表	菅 原 和 則

## 地域審議会協議テーマについて

### 1. 地域審議会の進め方について

平成17年10月1日の市町村合併から4年余りが経過しています。これまでも旧市町村の地域振興については様々な取り組みを行ってありますが、住民の声を十分に把握するとともに現在の課題等を的確に捉えつつ、今後より一層の地域活性化を図る必要があると考えています。

そこで、地域審議会委員の皆様から地域活性化の取り組みに対する提言、意見を頂き、今後の施策に反映してまいります。

具体的な進め方としては、地域振興に関するこれまでの調査研究の中から、各地域・各庁舎が地域の状況に応じた今後の地域活性化に資するテーマを設定し、地域審議会全体での検討に加えて、テーマごとに分科会を開催し、委員の皆様からの提言、意見等を取りまとめていきたいと考えております。

また、平成22年度の地域振興に係る課題調査等の取り組みと連動しつつ、分科会での検討を進めてまいります。

### 2. 朝日地域審議会協議テーマの設定について

19年度実施の中山間地域コミュニティ実態調査や昨年度の地域単位及び学区のコミュニティ実態調査及び農業農村課題調査により、朝日地域における様々な課題が明らかになっています。

これまで、朝日地域では過疎対策、克雪対策、農林業の振興対策などの地域課題に対し、「過疎地域対策緊急措置法」等の制度も活用し、農林業関連の基盤整備や道路の改良、水道、下水道の整備、TV難視聴解消対策等の高度情報通信基盤の整備等を行ない、ハード的な定住環境の改善に関しては一定の成果を収めていると考えています。

しかしその対策に逆行するように、少子高齢化や人口流出が予想をはるかに上回るスピードで進み、合わせるように農林業などの基幹産業の低迷、保全農地や森林の耕作放棄・荒廃の進行、国土保全、災害抑止、水源の涵養、食糧の供給などの多面的・公益的機能の低下も含め、全国の過疎地域と同様、地域の喪失という極めて深刻な局面を迎えつつあると認識しています。

特に実態調査の中から浮かぶ課題として、中山間地域の集落においては、世帯数、人口の減少により役員のなり手不足、共同作業での労力不足等の課題が上げられており、生活環境(機能)の維持・再生を課題として、早急に検討を行なう必要があると考えています。

また災害への対策として、安全・安心な生活環境を確保する上で、行政が支援を行いながらも、住民一人一人が自分自身のこととして、自発的に防災対策へ取り組む意識を持ってもらうことが必要だと考えています。平成22年度の「支えあう地域防災力調査研究事業」を通して取り組みを進める予定ですが、自主防災組織のあり方等地域での課題を整理するとともに、地域全体での防災意識の向上を目指し、「自分の集落・地域は自分たちが守る」意識をより一層高めていく必要があります。

合わせて、農林業の振興という面では、山間奥地という立地条件から農林業など基幹産業の低迷が続く中、現在展開されている小ロット多種多様な農林産物について、生産、加工から販売までの一貫した体系を目指した六次産業化の検討が必要と考えています。

地域審議会においては、以上の現状と課題を踏まえて協議テーマを設定し、課題解決の方策を探りたいと考えています。

## キーワード：中山間地域の維持・活性化

過疎高齢化や若者人口の流出が進む中、山林・農地・公共的施設を含む建物等の維持はもとより、自治会運営・共同作業・文化の伝承等が困難となり、一部では集落機能の喪失さえも懸念されている状況にあります。

さらには、地域産業としての農業・林業等の低迷が続き、後継者や働き手不足、山林や農地の荒廃、鳥獣被害の増加が著しく、豪雪や災害など地形・気象に起因する不安要素も大きなものになっています。

今後の展望として、住民の一人ひとりの安全・安心が確保され、住み慣れた地域の中、健やかで心豊かに生活できる環境、いわゆる定住環境の整備や、農林業の振興を目指し、地域資源を活かした六次産業化の推進等、多角的な地域活性化の取り組みなどを進める必要があります。

分科会協議テーマ（案）

### 1. 「中山間地域生活環境(機能)の維持・再生について」

人材育成（役員の確保）及び防災体制・機能の整備について

### 2. 「農林業の六次産業化の推進について」

特産物加工施設の整備の必要性と可能性について

